

**Nilfisk**  
**ALTO**

**Wap**  
**KEW**  
TECHNOLOGIES

高圧ウォータークリーナ

# 取扱説明書

<モデル> ポセイドン  
POSEIDON 5-47



最終ページは保証書になっておりますので、本書を大切に保管下さい。

 **Nilfisk**  
**Advance**





ニルフィスク アドバンス株式会社

## ＝Nilfisk ALTO社の環境に取り組む姿勢＝

ISO9001認定のALTO社の生産工場では、環境への影響を最小限に抑える事を当然の事と考えています。更に、資源の有効利用を第一義にとらえ、プラスチック部品はリサイクル可能なポリプロプレインを早くから採用しています。そして、それらリサイクル可能なコンポーネント部品には、リサイクル可能を表すシンボルマークが刻印されております。当然の事ながら、製品の最終テストに工場で作られる水も再利用されています。


















## ＝本機をお使いになる前に本書をよくお読み下さい＝

本機は、高圧のウォータジェットを作り出す高圧ウォータクリーナです。安全に関する禁止事項・注意事項をお守りいただかないと重大な事故につながります。あなた自身、周囲の人の怪我、物や本機そのものへの損傷をまねかないように、本書の内容を完全に理解して下さい。

-  **危険** : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことがあります。
-  **警告** : その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
-  **注意** : その警告に従わなかった場合、怪我を負う恐れがあります。
-  : 重要な注意・推奨・お願い事項です。

## ＝使用上の注意事項/全般＝

開梱後、機械に異常がない事を確認下さい。もし、何か異常を発見した場合には、お買い上げ店にご連絡下さい。

- ①  **危険** 高圧ジェットを人や動物、電気器具、本機等に直接当てないで下さい。
- ②  **警告** 作業中は、目に異物が入らないように防護眼鏡の着用して下さい。
- ③  **注意** 裸足やサンダル履きで作業しないで下さい。
- ④  **注意** 作業中オペレータや作業現場近くの方は、弾け飛ぶ土砂や破片を避けられるよう注意して下さい。
- ⑤  本機は洗浄作業現場から出来るだけ離れた所に置いて下さい。
- ⑥  オペレータは、本機を熟知している人に限って下さい。
- ⑦  **注意** 高圧ホースを装着しないで本機をスタートさせないで下さい。
- ⑧  **警告** 作業中は、ガン・ランスにスラスト方向の大きな力が掛かりますので両手でしっかりと保持して下さい。
- ⑨  **注意** 事故防止のために作業中断中は、本機を止めて、ガンの引き金の安全ロックをして下さい。
- ⑩  **警告** 引き金は必ず手で操作して下さい。何かで引き金を固定する事は絶対にしないで下さい。
- ⑪  **注意** 高圧ホースにダメージを与えないように車で轆いたり、潰したり、強く引っ張ったり、結んだりしないで下さい。また、オイル、鋭利な物、熱い物に近づけますと高圧ホースのバーストの原因になります。
- ⑫  **危険** 本機が動いている時は、高圧ホースや給水ホースを外さないで下さい。本機を止め給水栓を止めて一度ガンを握ってから高圧ホース、給水ホースを外して下さい。
- ⑬  **危険** 爆発の危険(引火性のある粉塵等)のある所では絶対に本機を使用しないで下さい。
- ⑭  **警告** 高圧ホース、ノズル、コネクタ類は安全作業に非常に重要です。ALTO純正品以外は使わないで下さい。
- ⑮  **注意** アクセサリ、補修部品もALTO純正品を使って下さい。
- ⑯  **注意** 作業中は本機をシート等で覆わないで下さい。ポンプ、モータ類の冷却に支障をきたします。
- ⑰  **注意** 凍結させてしまった時は、絶対に本機を始動しないで下さい。本機がダメージを受けます。本機、高圧ホース、ガン、ランスを温めて凍結を解除して下さい。参考:凍結解除の目安は、本機を始動させないで、水道圧でガンから水が出てくるようになったら概ね解除と判断出来ますが、凍結により何処かに歪みが残る事がありますので、早めに点検をお勧めします。

この度は、“**Nilfisk ALTO** 高圧ウォータクリーナ”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、高圧ウォータクリーナの正しく安全な取り扱い方法並びに日常の点検や保守管理について説明したものです。

本機をご使用になる前によくお読みいただき本機の正しい使用方法をご理解し大切な機械を安全に末永くご愛用下さい。

また、本書の説明以外にご不明な点がございましたら、お買い上げ店にお問い合わせ下さい。

## 【目次】

	頁
1. 0 準備	1
1.1 準備に先立って	1
1.2 各部の名称	1
2. 0 作業要領	2
2.1 装着/接続	2
①スプレランスとスプレガンの装着	2
②高圧ホースと給水ホースの接続	2
③電源の接続	2
2.2 始動	3
①水道水使用	3
②溜め水使用	3
2.3 吐出圧力の調節	3
2.4 洗剤の利用	4
3. 0 作業の終了	4
3.1 機械の停止	4
3.2 機械の保管・格納	4
4. 0 保守・管理	4
4.1 日常の保守・点検	5
①給水口フィルタの点検・清掃	5
②高圧ノズルの清掃	5
③ポンプオイル量の点検	5
④ポンプオイルの交換	5
⑤スプレガンのフィルタ清掃	6
5. 0 故障と対処	6
6. 0 主要諸元	6
<b>保証書</b>	最終頁

## 1.0 準備

始動前に本書をよく読み本機を正しくご理解いただき、作業の安全にご留意下さい。

### 1.1 準備に先立って：

**注意** 本機を一人で持ち上げようとしないで下さい。(重量は、75kg以上あります。)必ず、二人以上で行って下さい。

- ① 初めて本機を使用する際は、本機に異常やダメージがない事を注意深くチェックして下さい。
- ② 異常やダメージがありましたら、直ちに販売店にお知らせ下さい。
- ③ ポンプオイルが、ポンプオイルレベル確認口から目視できる事を確認下さい。不足の場合は補給して下さい。ポンプオイルは、”BP 220 XP(107144146)”オイルをお使い下さい。オイル量は、0.6ℓです。(詳細5ページ参照)

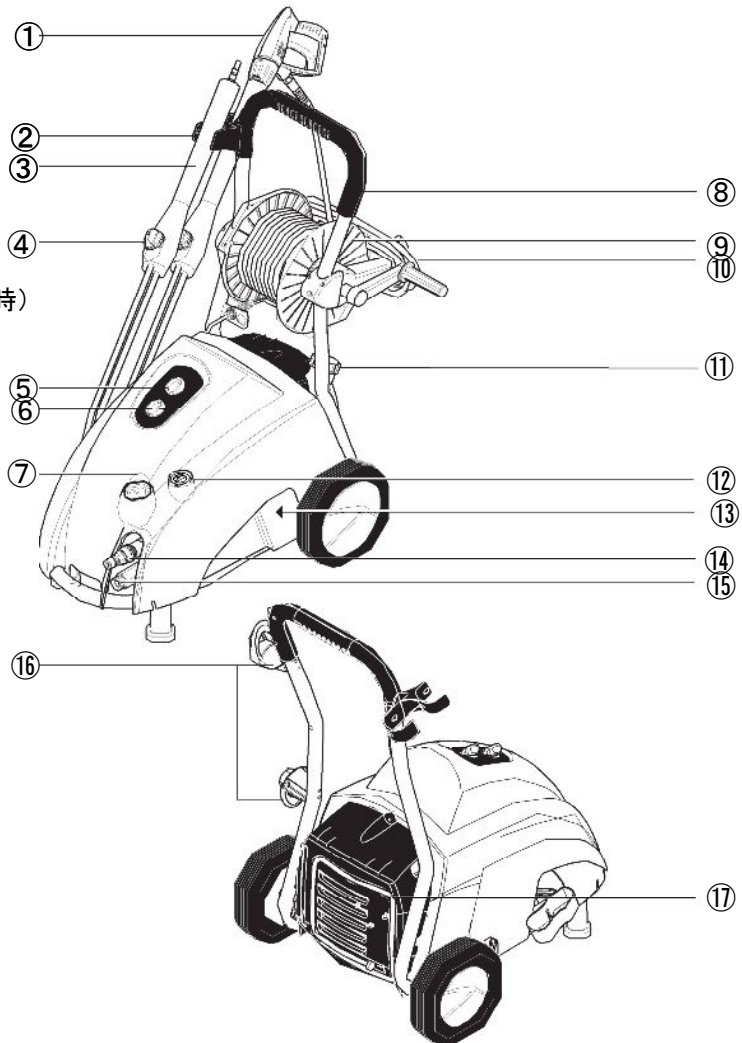
### **危険** 安全作業のために

- ① 高圧ジェットは、大変危険です。人、動物、電気器具・機器、本機に決して向けないで下さい。
- ② 作業者自身、また、作業現場近くにいる人は、洗浄作業場から飛び散る破片から身を守る装備、防護眼鏡を装着して下さい。
- ③ 自分自身や他の人の衣服や履き物を本機で洗わないで下さい。
- ④ 粉塵等爆発の危険のある場所では本機の使用は禁止。
- ⑤ 石綿を高圧洗浄する事は、禁止されています。



### 1.2 各部の名称

- ① スプレガン
- ② スプレランスホルダ
- ③ スプレランス
- ④ 圧力調節ノブ(ランス)
- ⑤ メインスイッチ
- ⑥ 洗剂量調節ダイヤル
- ⑦ 圧力計
- ⑧ ハンドル
- ⑨ ホースリール(オプション)
- ⑩ 電源コード掛け(ホースリール取付時)
- ⑪ 洗剤注入口
- ⑫ ポンプオイルレベル確認口
- ⑬ 洗剤タンク
- ⑭ 吐出口ニップル
- ⑮ 給水口(フィルタ内蔵)
- ⑯ 電源コード掛け
- ⑰ 洗剤吸引ホース



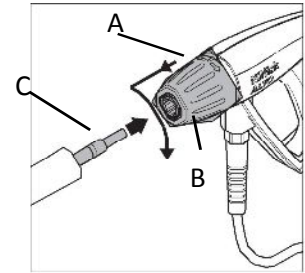
図は、ランスを2本セットした状態です。

## 2.0 作業要領

### 2.1 装着/接続

#### ①スプレランスとスプレガンの装着。

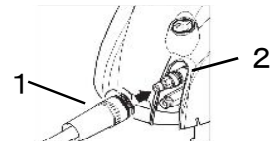
- 1) スプレガンの先端の青色カプラ(A)を前方に押し、左(→B)に回してロックします。
- 2) スプレランスのニップル(C)をカプラ(A)に差込みカプラ(A)を右に戻します。
- 3) これで接続完了ですが、念のため、スプレランスを前方に引っ張り、確実に接続された事を確認します。(他のアクセサリの接続も同様です)



スプレランス(他のアクセサリも)ニップル(C)に付着した異物はノズル詰まりの原因になります。装着前には必ず、ニップルに水をかけて、異物を洗い落とす事を習慣付けて下さい。

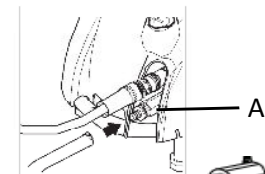
#### ②高圧ホースと給水ホースの接続。

- 1) 高圧ホースのカプラ(1)を手前に引き、本機吐出口ニップル(2)に差込みます。
- 2) 給水ホースを接続する前にホース内の異物が本機内に入り込まないように、一度水を通してホース内をすすいで下さい。
- 3) 給水ホースを本機のタケノコプラグ(A)に差込み付属のバンドで固定します。
- 4) 水栓を開けます。



高圧ホースの延長は、50mまでとして下さい。

- 2) 給水ホースを接続する前にホース内の異物が本機内に入り込まないように、一度水を通してホース内をすすいで下さい。
- 3) 給水ホースを本機のタケノコプラグ(A)に差込み付属のバンドで固定します。
- 4) 水栓を開けます。



- ・15ℓ/分以上の給水設備が必要です。
- ・給水ホースは、補強されたテフロンブレードの内径 3/4" (φ 19)、最低長6mを推奨します。



- ・井戸水等砂気、金気、異物等が混入している水を使用する場合は、別売のサクシオンフィルタ、サンドフィルタが必要になります。



サクシオンフィルタ  
(部品番号 6400000)



サンドフィルタ  
(部品番号 106402203)

#### ③電源の接続。



- ・電源の取り付けは、電気技師が行って下さい。
- ・30mA、30m秒を超える漏電で作動する、あるいはアーステスト回路を備えた漏電ブレーカの取り付けを推奨します。

- 1) 本機の銘板に記載されている 電圧・Hz・消費電流(Amp)が、電源に適合している事を確認下さい。
- 2) 電源プラグは、差込み、消費電流に合ったアース付き4芯の防水タイプをご使用下さい。
  - ・電源ケーブル端に圧着端子をしっかりとカシメ、確実に取り付けて下さい。
  - ・差込は、壁取付けの規格品をご使用下さい。



**警告**

本機は、20Amp仕様以上の防水タイプのプラグを使用下さい。それ以下のプラグは、爪が溶けたり、配線に異常をきたしトラブルの原因になります。



**危険**

アース線は必ず付けて下さい。 **アース線の色は、黄・緑色の縞です。**



**危険**

電源ケーブルに傷や絶縁不良がありましたら、絶対にそのまま使用しないで下さい。新しいものに交換して下さい。



#### 電源ケーブルの延長

- ・電源ケーブルの延長は、電圧降下の原因になりますので出来るだけ避けて下さい。
- ・やむを得ず延長ケーブルを使用する場合は、本機に標準装備のケーブルよりも太く、また延長も最小限にして下さい。
- ・ケーブル、接続部は、防水タイプで、地面に接せず、乾燥している事。
- ・ケーブルは全部コードリールから引き出し、熱によるダメージを避けて下さい。



**危険**

電源ケーブルを車で轢いたり、潰したり、強く引っ張ったり、結んだりしないで下さい。また、被覆を損傷させないようにオイル、鋭利な物、熱い物に近づけないで下さい。



- ・差込からプラグを外す時は、ケーブルを引っ張らずに必ず、プラグをもって下さい。
- ・ケーブルの重みでプラグが抜けかかり接触不良を起さないように、プラグをひもで吊るしケーブルの重みを受けて下さい。

## 2.2 始動

### ①水道水使用。

- 1) メインスイッチをオン” I ”の位置に回します。
- 2) スプレガンの安全ロックをスライドさせて外します。
- 3) 安全のため短時間と雖もスプレガンをロックする習慣をつけて下さい。



ガンを数回、短時間開閉して、システム内のエア抜きをして下さい。



#### ・オートスタートストップ

本機は、メインスイッチがオンの状態で、スプレガンの開閉に連動して、自動的に始動/停止します。



### ②溜め水使用。(自吸モード)

- 1) 給水ホースを本機につなぐ前に、給水ホースに水を満たして下さい。
- 2) メインスイッチをオン” I ”の位置に回します。
- 3) スプレガンの安全ロックをスライドさせて外します。



・作業状況、条件によって異なりますが、自吸揚程は、概ね、1mです。



オートスタート・ストップ装置で機械が停止している時は、”スタンバイ”状態です。ガン握ったり、高圧ホースを本機から外したりしますと、本機は一気に再始動します。メインスイッチを切って(OFF)止まっているのか、オートスタート・ストップ装置で止まっているのか常に確認して下さい。休憩・終業等、機械を使わない時や作業者が代わる時は、必ず、メインスイッチを切って、ガンを握りシステム内の圧を抜いて下さい。また、安全ロックも掛けて下さい。



機械が停止していても絶対にノズルを人や動物に向けないで下さい。

## 2.3 吐出圧力の調節

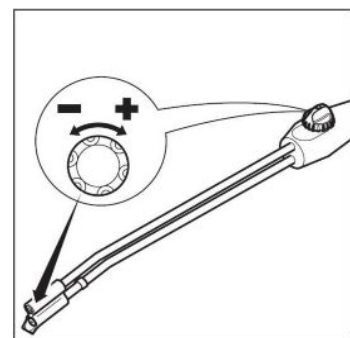
### ①ランスあるいはアクセサリ上の圧力調節ノブで。

吐出圧力の調節は、トルネードダブルランス上あるいは、アクセサリ上の圧力調節ノブで行います。

- 1) 時計方向(+)に回すと高圧。
- 2) 反時計方向(-)に回すと低圧。



・噴射をしながら任意に調節出来ます。



## 2.4 洗剤の利用

本機には、洗剤吸引装置が内蔵されています。

- ① 洗剤の使用要領は、洗剤メーカーの取扱説明書に従って下さい。
- ② 内臓洗剤タンクに洗剤を注入し洗剤吸引ホース⑩を差し込みます。
- ③ ランス上の圧力調節ノブ④で、低圧にするとインジェクタから洗剤が吸引され、高圧にすると洗剤の吸引が止まります。
- ④ 洗剤の吸引量は、本機の洗剤量調節ダイヤル⑥で行います。



- ・吹き付けた洗剤が洗浄対象物の表面で乾くまで放置しないで下さい。表面のダメージの原因になります。
- ・使用する洗剤は、PH 5.5～8.5の範囲として下さい。
- ・洗剤量調節ダイヤルの数値は、目安です。



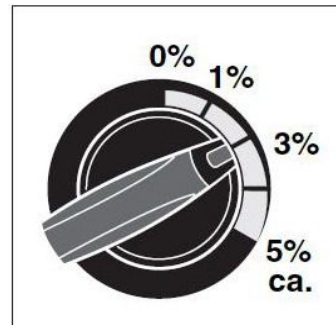
**注意**

正確な混合割合が求められる場合、PHが上記範囲を超える洗剤を使う場合は、別売のインジェクタ（品番：6401247）の装着をお勧めします。詳しくは、販売店にお確かめ下さい。



**注意**

**洗剤使用後は、洗剤吸引装置内をすすぐ。**  
洗剤使用後は、バケツ等の清水を洗剤吸引ホースから吸引させて（約1分）、洗剤吸引装置内をすすいで下さい。そのまま放置しますと装置内の残留洗剤が固着して、故障の原因になります。



## 3.0 作業の終了

### 3.1 機械の停止

- ① スイッチを”0”にして、本機を止めます。
- ② 水栓を閉じます。
- ③ ガンを握って、本機内の残圧を抜きます。
- ④ スプレガンに安全ロックをかけます。
- ⑤ 電源プラグを抜き、給水ホースを外します。
- ⑥ ランス、高圧ホース、電源ケーブルをハンドルのそれぞれの場所に収めます。



### 3.2 機械の保管・格納

本機は、湿気の少ない、凍らない屋内に保管して下さい。



**冬季間、本機を氷点下になる場所に格納する場合は、不凍液を循環させて下さい。**

- ① ランスを外し、高圧ホース、ガンを付けた状態で出来るだけ本機内の水を排出します。
- ② 次に不凍液を隅々まで行き渡らせるためにガンの開閉をしながら不凍液を吸引します。
- ③ ガンから不凍液が出て来たら、吸引を止めて、容器にポンプ内に吸引した不凍液を回収します。
- ④ 回収した不凍液は、何回か再利用出来ますが、ゴミの混入と不凍液の濃度にはご注意下さい。
- ⑤ 保管後、機械を使う場合は、念のため、暖かい場所で本機を温めてからの始動をお勧めします。



**注意**

万が一凍結させてしまった場合は、絶対に本機を始動せずに、暖かい場所でゆっくりと凍結を解いて下さい。本機を始動せず水道圧だけで本機から水が出てくるようになれば、概ね解凍されています。但し、凍結の状況で歪みが生じている事もありますので早目の点検をお勧めします。

## 4.0 保守・管理



**危険**

本機の修理、清掃の際は、必ず、電源コードを電源から外す事。

次の基本的な注意事項を守って、機械の寿命を延ばし、故障の原因を排除して下さい。

- ① 本機に装着する前に、給水ホース・高圧ホース・ランス・アクセサリのカップリング部を水洗いして、ゴミや砂を落として下さい。
- ② カップリングのゴミや砂を清掃し適時オイルを塗る。
- ③ 洗剤使用後は、インジェクタに清水を吸引させて、洗剤の固着や機器の作動不良を防止する。



修理交換部品は、純正部品を使用する。

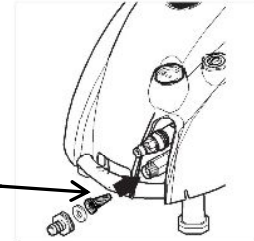
### 4.1 日常の保守・点検

項目	インタバル	毎週	最初の50時間後	半年毎あるいは500時間稼働毎	必要に応じて
① 給水口フィルタの点検・清掃		●			●
② 高圧ノズルの清掃					●
③ ポンプオイル量の点検		●			
④ ポンプオイルの交換			●	●	
⑤ スプレガンのフィルタ清掃		●			●

#### ① 給水口フィルタの点検・清掃

給水カプラにはポンプ内へ異物が入り込まないようにフィルタが装備されています。

- a) 給水カプラを外して、フィルタを取り出し、異物を取り除いて下さい。
- b) ダメージを受けたフィルタは、交換して下さい。



給水口フィルタ

#### ② 高圧ノズルの清掃

高圧ノズルが詰るとポンプ圧が異常に上がります。直ちに詰った物を取り除いて下さい。

オートスタートストップ装置が作動して、ノッキングを起します。

- a) 本機を停止し、ガンを握り本機内の圧を抜いてから、ランスを外します。
- b) ノズルの先端側から、針金等で高圧ノズルの穴を掃除します。



ノズルの清掃は、ランスをガンから外して行う事。

- c) ノズルの先端から水を注ぎ、詰っている異物をカップリングニップル側から流し出します。



スプレランスに異物が入り込まないようにランス保管時には、ランスの先端、後端が地面に接しないように注意して下さい。

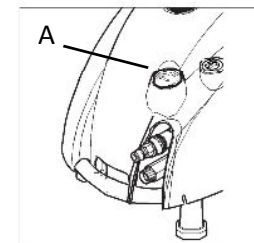
#### ③ ポンプオイル量の点検

オイルがポンプオイルレベル確認口(A)から目視できる量であることを確認して下さい。(右図)

不足している場合は、補充または、交換して下さい。

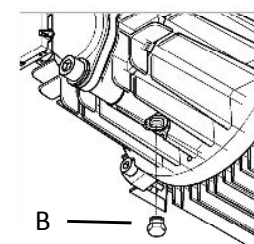


- ・オイル量は、0.6ℓ。
- ・適応オイルは、”BP 220 XP(107144146)”オイルです。



#### ④ ポンプオイルの交換

- a) オイル交換の前に本機を暖めます。
- b) カバー両サイドの2本のビスを緩め、後部のビスを外して、本機のカバーを外します。
- c) 排出プラグ(B)をゆるめます。
- d) 容量1ℓ位のコンテナを用意し、オイルを受けます。法規に則り、廃油を処理します。
- e) 排出プラグ(B)を取り付けます。
- f) 前項に従い、新しいオイル”BP 220 XP(107144146)”を注入します。(0.6ℓ)
- g) カバーを取り付けます。



## 5.0 故障と対処

故障	原因	対処
・圧が落ちる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム内にエアーが混入。</li> <li>・高圧ノズルの詰まり/摩耗。</li> <li>・ランス上の圧カノブが正しくセットされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレガンの開閉を繰り返し、エアーを抜く。</li> <li>・高圧ノズルの清掃/交換。</li> <li>・必要とする圧力にセットする。</li> </ul>
・圧が安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアーを吸い込んでいる。(自吸で使用時)</li> <li>・給水量不足。</li> <li>・給水ホースが長すぎるか径が細過ぎる。</li> <li>・給水量不足。(給水フィルタの詰まり)</li> <li>・給水量不足。(揚程が不適)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプまでの吸引ラインのエアー吸引の有無をチェック。(ホースクランプ等の緩み)</li> <li>・水栓をいっぱいにかける。</li> <li>・適正な給水ホースを使う。</li> <li>・給水フィルタの清掃。但し、給水フィルタを外して運転しない。</li> <li>・自吸揚程が高過ぎないかチェック。</li> </ul>
・スイッチを入れても始動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグが正しく差し込まれていない。(電気が来ていない)</li> <li>・電源ブレーカがOFFか、ヒューズの溶断。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグ、ケーブル、スイッチのチェック。異常があれば、交換する。</li> <li>・電源、ヒューズのチェック。</li> </ul>
・スイッチを入れた時始動せずにモータがうる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電圧が下がっているか、単相結線状態。</li> <li>・ポンプの詰まり、凍結。</li> <li>・電源ケーブルが細過ぎるか、延長コードが長過ぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電圧、電気系統の結線状況のチェック。</li> <li>・販売店に連絡。</li> <li>・適正なサイズの電源コード、延長コード長にする。</li> </ul>
・作業中モータが止まる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常過熱が過負荷により、モータプロテクションが作動した。</li> <li>・高圧ノズルの詰まり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源が適性がチェック。</li> <li>・モータが冷えるまで待つ。(最低3分間)</li> <li>・高圧ノズルの清掃/交換。</li> </ul>
・洗剤が吸引されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インジェクタ、サクシオンホースの詰まり。</li> <li>・洗剤タンクが空。</li> <li>・噴射を低圧にしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃。</li> <li>・洗剤の補充。</li> <li>・ランス上の圧カノブを反時計方向に回して低圧噴射にする。</li> </ul>

## 6.0 主要諸元

常用ポンプ圧	17 MPa(173 kg/cm <sup>2</sup> )
常用吐出水量	980 ℓ/時
適応電源	3X200V
消費電流(50Hz/60Hz)	19.0A/18A 5.2kw
許容給水温度	max 60°C
許容給水圧	~max 1 MPa(10.2 kg/cm <sup>2</sup> )
自吸揚程	1.0m
機体寸法(LxWxH)	740x550x1015 mm
機体重量	75kg
標準装備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルネードランス/トルネードプラスノズル</li> <li>・スプレガン</li> <li>・高圧ホース 10m</li> <li>・電源コード 5m</li> </ul>
洗剤タンク	6ℓ
ポンプオイル容量	0.6 ℓ
適用オイル	BP 220 XP(107144146)

仕様・外装は予告なく変更する事があります。

## ◆ アフターサービスと保証について

- 使用中にトラブルが発生した場合、修理を依頼される前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、点検してください。そのうえで回復しない場合には、ご自分で修理なさらないでお買い求め先までご相談ください。

### 保証内容と期間

- ご購入頂いた日から1年間を保証期間とし、保証期間中に発生した故障は原則として無料修理させていただきます。保証の対象は本体のみです。高圧ホースやノズルなどアクセサリ類は保証の対象外です。

### 保証できない事項

- 取扱の間違いによる故障
- メーカーが想定している使用条件を超えた使用によるもの、水の供給不足、電源の供給不足、電圧降下など外的要因に起因するもの
- 改造に起因したもの
- 純正部品以外を使用した場合
- 使用者の不注意に起因するもの
- 経年変化に起因するもの
- 風水害等の天災に起因するもの
- 気温低下による凍結に起因するもの
- 薬品、塩害等に起因するもの

### 保証の対象外の事項

- パッキン、O-リング、バルブ、チューブ、油脂類等の消耗品
- 本体以外のパーツやアクセサリ
- 本機を使用できなかったことによる不便さや損失

# 保証書

このたびは、ニルフィスクアルト製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。  
製品の製造に関しては万全を期しておりますが、お客様が「取扱説明書」に従っ  
正常な状態でのご使用中に万一故障した場合には、保証期間内に限り、無料にて修理を承  
ります。

※本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※販売店名、販売年月日についての記入及び、捺印のない場合は、お買い上げ日がわか  
るレシートまたは納品書を保存しておいてください。修理を依頼される場合は、レシ  
ートまたは納品書を添えてお買い上げ店にお持ちください。

ニルフィスクアドバンス株式会社  
〒223-0059 横浜市港北区北新横浜 1-6-6  
サービス課  
TEL: 045-548-2514  
FAX: 045-548-2519

製品名	業務用高圧洗浄機	型 式	
シリアル no. Serial no.		保証期間	お買い上げ日から 1年間
お買い上げ年月日	年 月 日		
お客様住所	〒		
お客様名	TEL : FAX :		

販売店

# Nilfisk ALTO

*Why Compromise*

## ニルフィスク アドバンス株式会社

本 社	〒223-0059 横浜市港北区北新横浜 1-6-6 TEL 045 (548) 2571 FAX 045 (548) 2541
大阪支店	〒579-8037 大阪府東大阪市新町 20-38 TEL 072 (987) 5558 FAX 072 (987) 5575
名古屋支店	〒485-0044 愛知県小牧市常普請一丁目 159 TEL 0568 (65) 8840 FAX 0568 (65) 8850
札幌支店	〒007-0802 北海道札幌市東区東苗穂 2条3丁目 5-51 TEL 011 (786) 0201 FAX 011 (786) 0222
物流・サービス	〒223-0059 横浜市港北区北新横浜 1-6-6 TEL 045 (548) 2514 FAX 045 (548) 2519